

事前送付時(10/23)から協議会当日までの主な修正点

資料1 さっぽろ子ども未来プラン素案概要

該当箇所	修正前	修正後	修正理由
札幌市の現状 少子化の現状と背景	合計特殊出生率 14年 1.06 19年 1.02	合計特殊出生率 昭和40年 1.93 平成20年 1.07	H20年の合計特殊出生率発表に伴う修正
前期計画の評価 子育てへの不安・負担	子育てに関して不安・負担を感じていない 15年度調査 30.8% 20年度調査 43.3%	子育てに関して不安・負担を感じている 15年度調査 55.8% 20年度調査 46.7%	素案本体(12p)の表現と一致させた
前期からの主な変更点 (基本目標変更に関して)		「目標6『子どもが豊かに育つ環境づくり』において具体的な取組を記載」	目標6における説明を追加
施策体系 計画事業数	計画事業数 後期 205 事業	計画事業数 203 事業(目標ごとの事業数も掲載)	目標6における事業数の増減を反映
重点項目一覧 重点5の事業名	児童福祉相談体制の強化	児童福祉相談・支援体制の強化 児童相談所の将来構想策定 区における児童福祉相談・支援体制強化	積極的に支援していく姿勢を明確にし、事業内容を具体化した
重点項目一覧 重点7の目標値	H20: 集計中	H20: 91.0%	20年度の実績が集計されたため
重点項目一覧 重点13の事業名	ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業	ワーク・ライフ・バランス推進事業	従業員も支援の対象にしたことから名称変更

資料2 さっぽろ子ども未来プラン素案(本体)

該当箇所	修正前	修正後	修正理由
第1章 2p 後期計画策定の背景	しかしながら、札幌市の合計特殊出生率は回復の兆しが見えず、・・・	しかしながら、札幌市の合計特殊出生率は長期的に見ると減少傾向が続いており、・・・	H20年の合計特殊出生率発表に伴う修正 (「長期的に減少傾向」)
第2章 13p 少子化の現状と背景	出生数、出生率、合計特殊出生率のいずれも減少傾向にあり少子化が進んでいます	出生数、合計特殊出生率のいずれも長期的に減少傾向にあり、少子化が進んでいます	・H20年の合計特殊出生率発表に伴う修正 ・少子化の状況は一般的に「合計特殊出生率」ではかれることから「出生率」の記載を削除
	4行目「出生数の減少に伴い、出生率も・・・5年間で0.7の減となりました」削除		
	図4 出生率の推移を削除		
第2章 13p 少子化の現状と背景	平成14年(前期計画策定前)の出生数が15,577人であったのに対し、平成19年には14,498人となっており、5年間で1,079人減少したことになります。	平成17年には昭和49年以降最低の14,184人となり、ピーク時と比較すると約1万人も出生数が減少しています。その後は増減を繰り返し、平成20年には14,845人となっております。	H20年の出生数発表に伴う修正
	平成14年の1.06に対し、平成19年には1.02となり、5年間で0.04の減となりました。	平成17年には0.98と、昭和40年以降最低を記録しました。その後増減を繰り返し、平成20年には1.07となっております。この40数年間の間に一人の女性が一生のうちに産む子供の数が約2人から約1人に減少したことになります。	H20年の合計特殊出生率発表に伴う修正

該当箇所	修正前	修正後	修正理由
第3章目標1 42p 重点5の名称・内容	児童福祉相談体制の強化	児童福祉相談・支援体制の強化 児童相談所の将来構想策定 区における児童福祉相談・支援体制強化	積極的に支援していく姿勢を明確にし、事業内容を具体化した
第3章目標1 42p 重点7の目標値	H20：集計中	H20：91.0%	20年度の実績が集計されたため
第3章目標3 52p 重点13の名称	ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業	ワーク・ライフ・バランス推進事業	従業員も支援の対象にしたことから名称変更
第3章目標3 53p 重点14の名称	認可保育所等整備事業 家庭的保育事業	認可保育所等整備事業 家庭的保育事業（保育ママ）	事業名をわかりやすく追記
第3章目標6 67p 課題と方針		冒頭に追加「子どもの権利条例の趣旨である「子どもの最善の利益の実現」に向けては、成長に伴って子どもが関わるあらゆる場が、自立した社会性のある大人へと成長する場であるとの認識が必要とされます」	権利条例の趣旨を追記
	不登校やいじめなどの対策として、スクールカウンセラーのより一層の活用など、早期に対応できるような体制づくりに努めます。	不登校やいじめなどの対策として、スクールカウンセラーの、より一層の活用などを進めるとともに、 <u>学校が児童虐待の早期発見の場であるとの認識のもとに、児童相談所などの関係機関との連携により、適切に対応できるような体制づくりを進めます。</u>	学校における児童虐待対応について追記
第3章目標6 72p 施策3に事業追加		追加事業「6-3-1 職場体験の推進」 施策3については、事業内容に応じて並べ替え	子どものキャリア教育に関する事業追加 わかりやすく掲載順を変更
第3章目標6 76p 事業の統合	6-5-5 子どもワンダーランド事業	6-5-5 少年国際交流事業（6-3-30の再掲）	類似事業を一つの事業に整理
付属資料 89p 実態・意識調査結果		グラフの削除	第2章に掲載したグラフと重複するため
付属資料 89p～96p 実態・意識調査結果		「次世代育成支援に関する主な意見・要望」を追加	実態調査の自由解答欄に記載された主な意見を掲載

資料4 さっぽろ子ども未来プラン 実施状況総括表（平成20年度実績・21年度見込）

該当箇所	修正前	修正後	修正理由
出生の動向		合計特殊出生率・出生数のグラフを差し替え	H20年の合計特殊出生率・出生数の発表に伴う修正